

よろず相談・汐入診療所待合室だより

よ・ろ・し・お

2024年2月号 (Vol.36)



発行：汐入診療所 荒川区南千住南千住8-10-3-101 TEL 03-3807-2302

※ホームページをリニューアルしました。 <https://www.shioiri-clinic.com/>

40歳以上の皆様へ：大腸がん検診のすすめ

汐入診療所では毎年2月・3月を「大腸がん検診月間」として、大腸がん検診をすすめています。大腸がんは男性では3番目、女性では2番目に多いがんです。「大腸がん検診」で行う便潜血検査は自宅で簡便に行うことができ、大腸がんの早期発見に大変有益です。一般的に40歳以上の方には毎年便潜血検査での「大腸がん検診」を行うことが推奨されています。大腸がん検診を毎年行うことで、大腸がんによる死亡が60%減ると報告されています。コロナ禍でも、自宅で受けられるがん検診です。

ぜひこの機会に大腸がん検診を受けましょう！

～当院で便潜血検査を行う方法～

・ 便潜血自己判断セット：300円（組合員）、600円（未組合員）

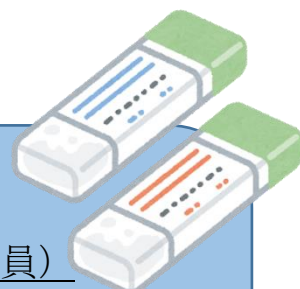
※診療所でお渡しするキットを用いて、自分で判定します。

・ 通常の便潜血検査：保険適応（1割負担で110円、3割負担で330円）

※上記金額とは別に、通常の診察にかかる費用がかかります。

診療所でお渡しする容器に便を採取し、診療所に持参して提出します。

提出して数日後に結果が出るので、結果を聞きに来てください。



～大腸がん検診・便潜血検査 Q&A～

Q. 便に血が混じっていないですが、検査をする必要はありますか？

A. 大腸がんからの出血は通常微量で、目では見えません。そのため便潜血検査を行い、便に微量の出血があるか確認する必要があります。

Q. 便潜血反応が陽性の人の中で、どれ位の人に大腸がんが見つかりますか？

A. 便潜血検査を受けた人のうち、約6%の人が陽性になると言われています。便潜血反応が陽性となった人のうち、約3%にがんが発見されると言われています。また便潜血反応が陽性の人が内視鏡検査を受けることで、がんになる前の大腸ポリープやその他の大腸の病気等が見つかる場合もあります。

Q. 便潜血反応が陽性となった場合は、どうしたら良いですか？

A. 下部消化管内視鏡検査（大腸カメラ）で、大腸を検査することがすすめられています。2日間行った検査で1日でも陽性だった場合には、内視鏡検査を行うことがすすめられています。当院で検査はできませんが、検査できる医療機関を提案させて頂き、希望する医療機関に紹介することが可能です。

Q. 2日間の便潜血検査で1回が陽性で1回が陰性でも内視鏡検査は必要ですか？

A. がんからの出血は間欠的であり、大腸がんがあるからと言って必ず便潜血反応が陽性になる訳ではありません。便潜血反応が陽性になるのは、早期の大腸がんで60%程度、進行した大腸がんで90%程度とされています。そのため2日間検査する必要があり、1日でも陽性となった場合には内視鏡検査（大腸カメラ）を受けることがすすめられています。

Q. 大腸がんの症状はどんなものがありますか？

A. 大腸がんの自覚症状としては、便に血が混じる・便が細い・腹痛・下痢と便秘の繰り返し・便が残る感じ・お腹が張る感じ・粘液の付着等がありますが、自覚する症状が出る時点ではがんが進行している場合が多いです。大腸がん検診（便潜血検査）を行うことで、早期がんやがんになる前の大腸ポリープの段階で発見できる場合が多くあります。

Q. 大腸がんの治療はどうなりますか？

A. 進行した大腸がんはお腹を開けての手術や抗がん剤加療等となりますが、早期がんやがんになる前の大腸ポリープの段階であれば、多くの場合お腹を開けず内視鏡（大腸カメラ）を用いての腫瘍（ポリープ）切除で完治が期待できます。早期発見・治療のためにも、大腸がん検診を受けることがすすめられています。



◇予防接種・乳幼児健診優先時間帯◇ （※要事前電話予約）

毎週木曜日 14:00～15:00 （第3週は休診）



～汐入診療所からの受診についてのごお願い～

- ・発熱や風邪症状等で来院の方は屋外での診察となります。
 - ・事前に電話で連絡の上、屋外での診察に対応した格好でご来院下さい。
 - ・診療所内でのマスク着用、入り口での手洗い・消毒をお願い致します。
- ※院内感染予防のため、発熱等がある方の送迎は行っておりません。
診療所での院内感染予防のため、御了承のほどよろしくお願い致します。



よろず相談・汐入診療所待合室だより「よ・ろ・し・お」 主なバックナンバー ※希望者は受付まで
2020年1月号「風しん抗体価検査」 9月号「おすすめの予防接種」 2021年6月号「禁煙外来」
9月号「訪問診療」 2022年4月号「発熱外来・コロナワクチン」 6月号「予防接種・乳幼児健診優先時間」
2023年4月号「带状疱疹ワクチン・子宮頸がんワクチン」 11月号「乳がん検診」